

橋梁調査表記載要領

提出方法 橋梁調査表（構造物現況写真）は印刷したものとエクセルデータを提出すること。
位置図、平面図、写真などは、画像（JPEG等）として貼り付けること。
橋梁詳細図（別様式）はA3又はA4サイズ（縮尺は印刷サイズに合わせる）のPDF形式で提出すること。

*コード、道路種別、路線名称、路線番号、区間番号、図面番号、整理番号 路政課で記載します。

分割番号 1 路線で橋梁が上下線別に架設されている場合や車道と分離して架設されている自歩道、歩道等の橋梁は本体も含めて同一のコード番号を付け、それぞれに分割番号を付ける。
(調査は個々の橋梁毎に実施する)

	分割番号		分割番号		分割番号
本体のみ	ブランク	本体橋梁	1	本体上り橋梁	1
		左側歩道橋	2	本体下り橋梁	2
		右側歩道橋	3	左側歩道橋	3
				右側歩道橋	4

道路種別 6～8 市町村道の1級（市道幹1000番台の路線）＝6
市町村道の2級（市道幹2000番台の路線）＝7
その他（市道北、中、南、東で表示される路線）＝8

橋長 橋台間のパラペット前面の橋軸の長さ、2径間以上の橋梁も橋台（アバット）間の距離
カルバートボックス等のラーメン橋は側壁の肉厚を含んだ長さ

桁長 橋台間、橋脚間に架けられた桁の長さ

支間長 桁を支える支承間の長さ、不明の時は橋座の幅の1/2を橋長から減ずる。
カルバートボックス等のラーメン橋は側壁の肉厚の1/2を橋長から減ずる。

最大支間長 複数の支間の中で最大のもの。

径間数 1橋当りの径間の数

橋梁面積舗装区分 Co コンクリート
As アスファルト
g 砂利
その他 M、m、St、B、木、石

橋梁種別 橋 河川、湖沼、海峡、運河、谷などの水面を越えることを目的とした橋梁
1, 2, 3 重要橋梁は各市町村が指定するコードを使用し一般橋梁は1とする。

高架橋 鉄道、道路、凹地、市街地などを越えるために架けられた橋
4 栈道橋以外の橋

栈道橋 斜面の中腹に棚状の橋梁構造形式で設けられた道路で横断面的に車道までその構造が及んで
5 いるもの

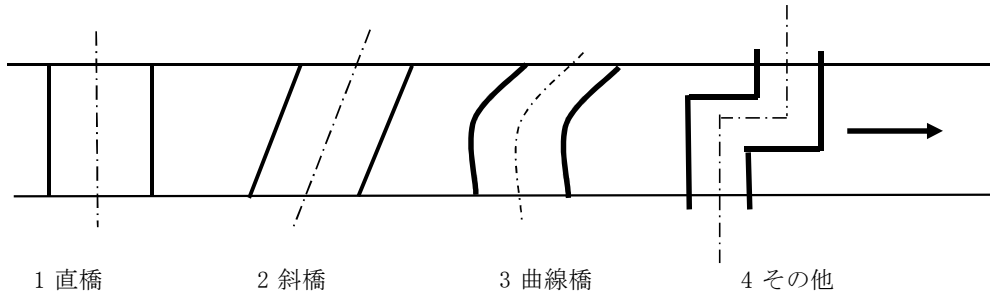
耐荷荷重 A括荷重、B括荷重に分類する。
B括荷重は車両総重量25 t以上、高速自動車国道・一般国道・都道府県道及びこれらと基幹的な道路を形成する幹線市町村道に架かる橋梁に適用される。
A括荷重は、これら以外の道路に架かる橋梁に適用される。

橋格（参考） 1等橋 設計耐荷荷重20 tで設計された橋
2等橋 設計耐荷荷重14 tで設計された橋、1日計画交通量1000台未満の主要でない一般都道府県道、市町村道
3等橋 設計耐荷荷重6 tで設計された橋（大正15年～昭和14年まで適用）

※A括荷重、B括荷重の規定により橋格は廃止され現在使われていない。

適用示方書類 元号と年号を3桁の数字で表示する。
明治＝1、大正＝2、昭和＝3、平成＝4
例 大正15年：215
昭和48年：348
平成14年：414
書類不明：999

- 形式
- 直橋 1 橋軸と一端における支承を結ぶ線が直角の橋
 - 斜橋 2 橋軸と一端における支承を結ぶ線が直角でない橋
 - 曲線橋 3 橋軸が曲線の橋
 - その他 4 1～3以外の橋



橋種区分

橋種	型式	記号
鋼橋	鋼桁橋	SG
	鋼トラス橋	ST
	鋼アーチ橋	SA
	鋼ラーメン橋	SR
	鋼ランガー橋	SL
	鋼ローゼ橋	SLO
	吊り橋（鋼桁）	SUS
コンクリート橋	コンクリート床版橋	KB
	コンクリートアーチ橋	KA
	コンクリートラーメン橋 (カルバートボックスを含む)	KR
	PSコンクリート床版（桁）橋	PB
	PSコンクリートラーメン橋	PR
石橋	石版橋（または桁橋）	MB
	石アーチ橋	MA
木橋	木桁橋	WB
	木トラス橋	WT
	吊り橋（木桁）	SUW